

鴨川市教育委員会 10月定例会会議録

- 1 日 時 平成24年10月25日(木) 開会 午後3時30分
閉会 午後4時30分
- 2 場 所 鴨川市文化財センター 会議室
- 3 出席委員 (1) 佐々木久之 (2) 根本新太郎 (3) 佐久間秀子
(4) 村上 修平 (5) 野田 純
- 4 出席職員 (1) 蒔苗 茂 (2) 前田恵美子 (3) 黒野 雅典
(4) 原 一郎 (5) 高橋 雅史

5 委員報告

- ・ 佐久間委員から、西条小学校の所長訪問と田原小学校の計画訪問の二つについて、西条小学校は眺めがよく相変わらずよい環境にあること、授業のほうは少し落ち着きがなかったのが気になったこと、管理職が地震などの安全対策について、授業中や休み時間などあらゆる場面においてきめ細かな対応を考えていることに感銘を受けたこと、授業を真剣に受けていた子どもが休み時間に力いっぱい遊んでいたこと、隅から隅まで校舎がきれいになっていて清潔感があってよかったこと、特別支援学級の子どもの表情がとてもよかったこと、理科の授業では子どもたちがよく勉強していて、子どもにとって実験は魅力があることを改めて感じたこと、理科室に薬品のおいが充満していて窓を開けるなどの配慮が必要と思ったこと、鉛筆の持ち方が気になったこと、等について報告がなされた。
- ・ 村上委員から、西条小学校の所長訪問を参観したこと、子どもたちが落ち着いていたこと、ある学年でA・Bコースに分けて学習を進める新しい方法を知ったこと、チームティーティングという方法と組み合わせることで理解の遅い子を救えるのではと思ったこと、10月7日の薪能を鑑賞したこと、外でできなかったことは残念だったが、能という日本の伝統芸能について深い認識を持てたこと、鴨川中学校前の畑で菜の花の種を生徒が蒔いた企画があったこと、観光協会の方が学校の協力にとっても感謝していたこと、菜の花畑を作ることと観光について実際に生徒が話を聞いたこと、町で活躍されている方々が学校教育に関わっていくことは素晴らしいこと、地域の方々のキャリアをもっと学校教育に活かすように取り組んでほしいこと、等について報告がなされた。
- ・ 根本委員から、天津小学校の計画訪問について、低学年の子どもは活発で人懐っこいが高学年になると登下校で会う子どもたちが挨拶するようになったこと、耐震補

強の関係で学校に筋交いが入っていることは目障りでいい感じではないこと、薪能が大勢の観客のもと清澄寺で行われ良かったこと、お天気が悪く外でできず残念だったこと、野間土手の研修では石川学芸員の説明がわかりやすかったこと、安房東中体育館の改修工事の関係で周囲に溶剤のにおいがすごかったこと、苦情がきていないか心配になったこと、等について報告がなされた。

- ・ 佐々木委員から、鯛リンピックが大変な盛り上がりを見せていたこと、西条小の所長訪問では若い先生が多かったが授業はしっかりとされていたこと、鴨川小学校の所長訪問では特別に支援を要する児童が増えている現状に驚いたこと、薪能ではよい物を見させてもらったこと、周りの人からもっと日本の古典芸能を観る機会を増やしてほしいという声が聞こえてきたこと、等について報告がなされた。

6 教育長報告

- ・ 野田教育長から、9月22日に千葉ロッテの関係でマリーンスタジアムへ行き鴨川産海産物を送ったこと、11月1日から22日まで鴨川キャンプが開かれること、今までの中で最大の人数が参加することもあり全市体制で歓迎すること、この機会に教育委員さんにも参観してほしいこと、10月8日にマンボウ通学合宿が3泊4日で鴨川青年の家で実施したこと、10月10日に学校適正規模検討委員会を開催し大体の方向性が決定したこと、江見地区については平成27年度をめどに3小学校の統合および幼保一元化を進めていくこと、天津小湊地区については地区住民の統合反対の署名があったことや保護者の反対が根強くあるため、当分の間存続していくこと、10月12日に学校給食センターを保護者が参観したこと、放射能汚染を心配している保護者が測定機器での検査や所長の説明を受けて安心感を持ったこと、10月19日に東条小で学力向上発表会があったこと、安房だけでなく君津、市原の各学校から1、2名参加したこともあり大勢の参観者が集まったこと、内容面でも東条小の取組が評価されたこと、曾呂小の教育ミニ集会有り児童相談所の所員が講師となり実りある中身であったこと、等について報告がなされた。
- ・ 黒野課長から、薪能については、鴨川市ではじめて開催したものであったこと、文化庁の補助金事業であったこと、能についてはマイナーな芸能と思っていたが大勢の人が関心を示していただいたこと、このような機会を市民が欲していることを知ったこと、清澄寺で開催できたこともよかったこと、横山大観展については毎日100名を超える入場者がいること、期間中には1000名を超えるのではと予測していること、鴨川市をPRできたことは大変よかった、等について追加報告がなされた。
- ・ 蒔苗教育次長から、小学校陸上記録会があり女子800mで大会新記録が出たこと、10月10日に就学指導委員会があったこと、障害のある子どもについて措置判定

をしたこと、保護者が地域の学校を希望することを想定し、今後の学校施設はバリアフリーにするスロープを付けるなどの改善が必要になってくること、PTAバレーの郡市大会があり残念ながら鴨川市代表が予選で敗退したこと、日頃からママさんバレーを続けている保護者のチームとその他のチームでは力の差が歴然としていること、本来の親睦交流という趣旨が不明確になっていること、等について追加報告がなされた。

【報告に対する質疑】

- ・ 質疑がなく、全員の了承が得られた。

7 議 事

(1) 「君津市と鴨川市との間の学齢児童及び学齢生徒の教育事務の委託に関する規約の一部を改正する規約の制定に関する協議について」

- ・ 前田学校教育課長より、学校教育法第38条に「市町村は、その区域内にある学齢児童を就学させるに必要な小学校を設置しなければならない。」とあるが、第40条一項に、不可能又は不相当の場合は小学校の設置に代え、一部の教育事務を他の市町村に委託することができる、という趣旨の条文が明記されていること、これまでは鴨川市と君津市黄和田畑の一部の地区との規約があったが、今回は蔵玉地区の一部を加えるものであること、平成25年1月1日に施行されること、このことについて君津市と協議が必要なこと、議会の承認が必要になるため12月議会に上程の予定であること、等の説明がなされた。
- ・ 根本委員から、これは君津市から依頼のあるものかとの質問があり、前田課長から本来は住所地のある教育委員会が入学すべき学校を指定するものだが、交通事情等の理由から隣接する市町村に教育事務の委託を依頼する場合があること、また君津市のほかに富津市とも委託契約を結んでいるとの説明があった。
- ・ 村上委員から、通学バスは蔵玉まで行くのかとの質問があり、野田教育長から通学バスは鴨川市内までということであり、蔵玉までは運行していないとの説明がなされた。
- ・ 佐々木委員から、鴨川からよその市町へ行っている児童生徒がいるかとの質問があり、前田学校教育課長から、現在はよその市町へ通っている児童生徒はいないとの説明がなされた。
- ・ 村上委員から、江見地区3校が統合して旧江見中学校跡地に統合した場合、和田小に行く子どもがいないかとの質問があり、蒔苗教育次長から確かに江見の外堀は和田小が明らかに近いが現在その声は聞こえていないとの説明がなされた。

- ・ その他の質疑なく、全員の了承が得られた。

(2) 「鴨川市公民館の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について」

- ・ 黒野生涯学習課長から、現大山公民館を旧大山小学校に移転するため校舎を現在改修中であること、それに伴う条例改正であること、また、これにより所在地を「鴨川市金東3番地2」から「鴨川市金東5番地」に改めること、改正条例の施行を平成25年4月1日にすること、等について説明がなされた。
 - ・ 佐々木委員から、旧大山公民館の活用について考えがあるかとの質問について、黒野課長より、現在未定との説明がなされた。
 - ・ 根本委員から、「金東5番地」という説明があったが、どこまでを使用するのかとの質問に対して、黒野課長より、校舎のみであり体育館や校庭は含めないこと、校舎もすべてではなく一部を使用すること、管理は旧校舎すべてを生涯学習課で行うこと、等について説明がなされた。
 - ・ 佐久間委員から、今までの公民館では着替えや準備の部屋が不足して困ったが、それは大丈夫かとの質問について、黒野課長より、十分に確保できるとの説明がなされた。
- ・ その他の質疑なく、全員の了承が得られた。

8 その他

- (1) 各課長から、「11月の教育委員会行事予定」について、資料をもとに説明がなされた。
- (2) 学校給食センター高橋係長から、「放射能物質測定機器」について、資料をもとに説明がなされた。
 - ・ 佐々木委員から、月2回とあるが毎日検査できないか、との質問があり、高橋学校給食センター係長から、1週間後に使用する食材を検査していること、人員の課題があり、無理があるとの説明がなされた。
- (3) 前田学校教育課長から、市教委訪問や長狭学園計画訪問の日程について説明がなされた。
- (4) 蒔苗教育次長から、「地教委主催の公開研究会」と「教育委員の懇親会」について、確認がなされた。
- (5) 黒野生涯学習課長から、市立図書館の貸出し冊数の現状について、年毎に貸出し冊数が増えており、安房地域の中では他の市町よりも冊数が多いという説明がな

された。

- ・佐久間委員から、貸し出し冊数の算出方法はとの質問があり、黒野生涯学習課長より、貸し出し総数を人口で割った数であるとの説明がなされた。

佐々木委員長は、一切の審議の終了を告げ、閉会を宣言した。

以上、会議の顛末を記載し、相違ないことを証するため署名する。

平成24年11月21日

鳴川市教育委員会 委員長

委員長職務代理者

教育次長

会議録作成者 蒔苗 茂